



清里高校の文化祭を盛り上げよう！

# 地域貢献 勉強の場は教室 だけじゃない

2016.7.14~17

特集

## 教養ゼミナール A (地域貢献活動)

ゼミ担当 石川千温



教養ゼミナールは、札幌学院大学の教養科目に位置づけられている。その特徴は多様性。関わっている教員の専門分野のテーマのものあれば、まったく無関係な分野のテーマも存在する。その時々で設定され、そこに集う学生達も学科はばらばらだ。中には職員も一緒に参加するゼミもある。

その教養ゼミナールの一つが、石川教授が担当するだ。札学の学生達がオホーツクにある清里町の清里高校に出向いて、高校生たちと一緒に

に清里高校の学校祭を盛り上げる。清里高校は全校生徒数が70名にも満たない小さな高校だが、その生徒達は学校祭を実施するために日々、ダンス練習や模擬店の準備に忙しい。そこで、札学の学生が実際に行って手伝いと盛り上げ役を引き受けようというわけだ。

学生に求められるスキルは行動力のみ。指示を待っているだけでは通用しない。五感を駆使し、今の自分に何ができるか、何を求められているかを察知し、自ら行動する。これらの体験を重ねながら、主体性を自分の力として獲得する。また、この活動を通じて、コミュニケーション能力や問題解決力などの社会人基礎力も養うことができる。

学生時代の様々な活動体験は、学生達が将来社会人となり、地域に貢献できる人間となるうえで大きなプラスになるに違いない。札幌学院大学では、これ以外にも様々な地域貢献をテーマにした活動が増えつつある。2017年度から「地域貢献」という科目に昇格し、更なる進化が期待されている。



### SGU

学校祭へはわざわざ札幌学院大学のマスコットキャラクター・ブラウニーも駆けつけてくれた。といっても、暑い中、学生達が手分けし、汗だくになりながら「中の人」を演じてくれたのは内緒の話。



### T

チームTシャツもばっちり作成。参加者全員の名前がプリントされ、会場でも存在感は抜群。